



たのしみ
楽

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

去る5月28日にゆめぱれすで、上田^{うえだ}埼玉県知事をはじめ、多くのご来賓や市民の皆様のご出席をいただき、市制施行50周年記念式典を無事に挙行することができました。開催に当たりご尽力をいただきました皆様に、改めて感謝を申し上げます。

さて、本市では5月22日に、私をはじめ課長級以上の管理職員で「イクボス宣言」をしました。「イクボス」とは、職場で一緒に働いている部下の仕事と生活の調和を考えて、育児や介護、休暇などの私生活にも配慮しながら、その成長とキャリアアップを応援する上司のことです。当日は、宣言書の署名に先立ち、NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事の安藤哲也^{あんどうてつや}さんにご講演をいただき、イクボスの役割や心構えについて理解を深めました。市で

は、これまでも特定事業主行動計画に基づいて、年次休暇の取得の増加や男性職員の育児休業の取得の促進、時間外勤務の縮減などに取り組んできましたが、今後は、これまで以上に職員が子育てや介護、地域での活動など、仕事以外の場においても活躍できる環境づくりを進めていきたいと思っています。

ところで、本市の夏の風物詩となりました朝霞市民まつり「彩夏祭」が、今年は8月4日(金)から6日(日)までの日程で開催されます。よさこい鳴子踊りを本州で初めて取り入れた「関八州よさこいフェスタ」には、本市と災害時の相互応援協定を結んでいる山形県東根市や福島県須賀川市のチームをはじめ全国から94チーム、約6千人もの踊り子の皆さんにご参加いただく予定です。また、間近で打ち上げられる大迫力の花火や、都市間交流ブースでの各地の特産品の販売、太鼓の演奏や吹奏楽演奏など、今年もたくさんの魅力的な催しで皆さんのお越しをお待ちしています。とりわけ8月5日(土)の打ち上げ花火は、市制施行50周年を祝して、昨年の約9千発を上回る1万発を打ち上げます。彩夏祭の花火は、至近距離で連続して打ち上げられるその迫力が見どころのひとつですが、今年はより一層息をもつかせぬものになると思いますので、楽しみにしててください。では、また。

デフリンピックが開催されます



問/障害福祉課
☎463-1599

4年に1度行われる、聴覚に障害のある人のためのオリンピック「デフリンピック」が、7月18日(火)~30日(日)に、トルコのサムスンで開催されます。このたび、バドミントンの日本代表選手に選ばれた朝霞市の2人を紹介します。選手の活躍を応援しましょう！

5月21日(日)朝霞市聴覚障害者協会主催で壮行会が行われました。

【デフリンピックとは】

「デフ」とは、英語で「ろう者」を意味します。

デフリンピックは、オリンピック同様、4年に1度開催されるもので、オリンピックと同じルールで競技が行われます。音による合図が聞こえないため、ライトの点灯でスタートを知ら

せたり、審判のジャッジに合わせて旗を振ったりするなど、視覚を使った合図を利用し競技を行います。また、選手同士が耳の聞こえない立場でプレーするという公平性の観点から、競技中のみならず競技会場に入ったら補聴器等を装用することは禁止されています。



ぬまくら まさあき
沼倉 昌明選手

しなだ ちひろ
品田 千紘選手



サムスンデフリンピック2017
公式ロゴマーク

<デフリンピック啓発ウェブサイト> <http://www.jfd.or.jp/deaflympics/>

<第23回夏季デフリンピック競技大会ホームページ> <http://www.jfd.or.jp/sc/samsun2017/>

ひとの推移

人 □ 13万8,018人 (+199人) 男 6万9,678人 (+124人) 女 6万8,340人 (+75人)
世帯数 6万3,788世帯 (+91世帯) 平成29年6月1日現在 () 内は前月比